

英単語-最短学習法

毎日 1 時間の英単語学習で、TOEIC915 点相当の英語力を手に入れ
外国人と楽しく談笑し、不自由なく海外を満喫する方法

こんにちは、森田です。

ネットでは、ベルと名乗っています。

今回のレポートは【英単語を最短で学習する方法】です。

レポートは少々長くなりましたが、

読みやすいと感想をよく頂くので、是非最後まで読んでみて下さい。

まず、このレポートを書いている人物がどれだけの英語力かを説明しておきますね。

僕は、2ヵ月で TOEIC の点数が 400 点上がり、830 点を取得しています。

今回のレポートのメインである単語力に関しては、

TOEIC915 点を取る人と同じ語彙力を持ち合わせています。



なぜ僕がこのレポートを作成したのかというと、
正しい英語の法則を今まで誰も教えてこなかったからです。

巷では、「どの英単語帳が良いのか？」
は詳しく解説されているのに、

「どんな方法で学ぶのか？」
については全く触れていません。

単語帳をおススメしている人に勉強法を聞くと、根性論を前提とした
時間をかければ出来るようになるよ。
と膨大な時間を要することを提案してきます。

彼らは、「なぜ覚えられるのか？」「どうやって覚えられるのか？」
という脳科学的な知識から紐解くことはなく、
ただただ、時間をかけることのみしか語りません。

時間が掛かる根性論に関わってはいけません。

僕は、社会人に向けて英語セミナーを開くこともあるのですが、
そういった背景が原因なのか、セミナーに参加される方は初め、
効率が悪いことをコツコツと時間をかけて勉強する方もいます。

必要のないことをせっせと努力しているのです。
で、勉強し終わったら、「今日はこれだけ頑張ったぞ！」と達成感があるのですが、
ゴールからの距離は全く変わっていないのです。

僕は勉強法を紹介する時に毎回説明するのですが、

短期間で結果が出る勉強以外は触れない

ということを紹介しています。

簡単に言うと、**勉強しないことを決めるのです。**

つまり、勉強を細分化し、戦略を定めることで

最大限のレバレッジをかけながら最短で結果を出していきます。

では、そんな夢のような方法を分かりやすく説明していきます。

(専門用語などは使っていないので、読みやすいと感想をよく頂きます。)

まず結論から言います。

単語の暗記方法は、

「英語を勉強して達成したいゴールを決める」

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

「勉強法を知り、確信する」

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

「1時間 100単語覚える」

これです。

これを繰り返します。

どうせ勉強するなら、コスパを最大限まで高めていきましょう。

目次

英語を勉強して、達成したいゴールを決める	4
勉強法を学び、確信する	11
===数===	17
===脳の使い方===	20
覚えたのかをチェック	22
1 時間 100 単語覚える.....	24

英語を勉強して、達成したいゴールを決める

まずは、ゴールを決めることがとても大事です。

やる気が無くなった時や、勉強しなくてもいい理由を作ってしまうように、

「英語を勉強して何を求めているのか？」

を明確にしましょう。

ゴールと言っても、簡単なものでいいですよ。

「現地の人と触れ合って、思い出に残る海外旅行をする」

「外国人と hello に続く簡単な挨拶をする。」

「グローバルな関わりをするために TOEIC の点数を取って、外資系に入社する」

・・・などなど。

逃げない目標を決めましょう。

僕もそうなんですが、人ってそこまで強くない生き物なので、

逃げる理由を作ってしまう。

「今日は疲れているし・・・」

「今日は・・・」

やる気が低い時って、

勉強しない自分を勝手に正当化しようとする

心の叫びが聞こえます(笑)

そんな心の酒着が聞こえた時は、

「心の叫びが来た来たw」

とでも、茶化しておきましょう。

心の叫びが聞こえても負けないコツは

3分でも机に向かって参考書広げてみて下さい。

やる気スイッチがONされて、気づいたら1時間くらい過ぎちゃっています。

この時に注意してほしいポイントは、

手段と目的が逆転しないようにしましょう。

例えば、

「TOEIC600点取りたい！」というのは、手段です。

同様に、「英検1級に受かりたい！」も同じです。

イメージ的には、

現在⇒(手段)⇒叶えたい夢

というステップを踏むものがゴールです。

その間にある手段をゴールに設定してしまわないようにしましょう。

叶えたい夢に向かって努力した方が、英語力が上がりやすいです。

英語力が上がれば本当に、人生の選択肢を増やしてくれます。

プライベートでも仕事でも両方に大きな影響力を与えてくれます。

それこそ、**新しい世界の扉がいくつも開かれていきます。**

職業柄、外資系の人と話す機会が多いのですが、

初年度から給料はかなり多いし、

世界中の人とコミュニケーションで困る様子がなく、ほろ酔いでフラつく外国人と話しています。

(英語話者は 23 億人。世界人口の 1/3)

外国の衣食住を存分に楽しむことが出来ます。

そして、

僕が個人的にデカいと思ったのは、

自信が持てることでした。

ちょっとした自信が持てるから

自分よりもステータスが上の人とも堂々と接することが出来るし、

新しい人脈がドンドンと開拓されていきました。

自信も積もれば、確信に変わります。

正しい選択が出来てるなっていう自信です。

結果、初めは予想もしていなかったのですが、
会社をいくつも経営する人から翻訳を任されて、
お金に換えられない、有益な情報を沢山聞くことが出来ました。

こういった話は、ブログでは出来ないので、
メルマガでしていこうと思います。(興味があれば、レポート最後のリンクから登録してください。)

英語は人としての価値を極限まで伸ばしてくれるツールです。

韓国は英語のおかげで、今や日本を凌駕した技術力を持っています。
ソニー+パナソニック+シャープの会社の価値を3倍にしたら
サムスンの会社の価値になります。(サムスはappleよりも上です。)

なぜ、韓国の企業がこれほどまでに成長したのかと言えば、
シンプルに英語を徹底的に教育させて、
人の価値を極限まで伸ばしたからです。

これに危機感を感じた楽天などの大手企業は、
社員の英語力を上げることに躍起になりました。

同時に、学校教育も変化するのか？
と思ったのですが、日本の教育は全く変化することなく
「話す」「聞く」「書く」が出来ない日本人がドンドン誕生してしまったのです。
義務教育が原因で、今もなおそういった日本人が生まれています。

僕はこの現状を何とか変えたいなど。

日本の英語教育に『革命』を起こしたいなど。

使命を持って、本気で活動しています。

数字からデータを見たら明らか過ぎて、本当に怖くなってきます。

英語を使って、情報の伝達を早くした結果、

韓国は日本よりも優位性を未だに保っています。

日本が世界一の技術力と金がある国だった時代はバブルと共にはじけました。

しかし、未だに 50 代は

「俺たちが若い頃は、英語なんか話せなくても海外と渡り合ってきた。熱意があれば(略)」

怖いです。

未だに、こういった勘違いした情報が行き交っているのを聞くと申し訳ないですが、

「情報感度、低すぎるなー」と思わざるを得ません。

今は、真逆です。

共通言語の英語を知らないとスタートにすら立てません。

僕らが売り込まないと、いけないんです。

以上から分かるように、

情報って大事ですね。明暗が決まりますからね。

英語と同様に、人生は、情報戦です。

大学に入学するのだって、

勉強が目的ではなく、情報を手に入れるためではないですか？

少なくとも僕はそうでした。

高卒だって、社会に出て十分に働けますからね。

大卒との違いは、情報の差です。

大学院だって、同じですよ。

僕は、研究がしたかったからではなく、

より密度の濃い情報を手に入れるために大学院へ進学しました。

僕は情報戦で勝つために、情報には何百万と投資してきたし

このスタイルはこれからも変えることはありません。

その経験から、**英語を身に付けておいて絶対に損はありません。**

と断言します。

価値が尋常じゃなく上がります。

これからの日本の未来は

共通言語で、世界に売り込みに行ったり、

会社に依存しないワークスタイルに移行したり、

個人の力がもろに影響される時代が来ます。

そのために各資格を取得するのも良いと思います。

その中でも**英語は気軽に始められて、**

かつ、早くから英語学習をスタートした人ほど、

将来、平均年収が高いデータがあります。

プライベートでも、楽しい将来が増えますよね。

あらゆる危機を回避することも出来ます。

身近なところで言えば、
就活や転職など。

韓国の例から分かるように、
英語力があるだけで、希少性が高まり、
他の候補より圧倒的に優位性を保てますからね。

また、英語が出来れば、女の子からモテます。
異常なほど話題に上がりますよ(笑)

知的な人に見えるし、
話のネタにもなるし、
なにより努力している人って魅力的じゃないですか。

だから僕は、英語を使える女性は、とっても魅力的に映ります。

目の前にペラペラと英語を話す人がいたら、
「この人、何者なんだ！??
帰国子女なのか？ハーフなのか？日本人なのか？
とにかく、カッコいい！！」
って素直に思います。

話を元に戻しますが、
結局は、ゴールは何でも大丈夫なんです。

モテてー！
自信持ちたいー！
給料上げてー！
人脈ほしー！

欲求に忠実なくらいがちょうどいいです。
表面は高尚なことで取り繕ってもいいのですが、
自分にはウソをつかないように、
欲求を叶えるために行動してもいいと思います。

勉強法を学び、確信する

なぜ、日本人が「話す」「聞く」「書く」が出来なくなったのか？
ここに一番の焦点を当てたいと思います。

先ほども言いましたが、
人生は、情報戦です。

僕は、情報を得たものがより効率的に行動し、
レバレッジを利かしていきます。

結果、何千時間もの時間を短縮することが出来ました。

英語の勉強法を知っているのか、知らないのか。
これだけでも今後の英語力に大きく差が出てきます。

よく言われるのが、
「センスでしょ？」「才能あったんじゃないの？」とか聞かれますが、

昔は英語のせいで志望大学に落ちています。
なんとか入った大学では英語の単位を落としています。

ぜんぜん英語が出来ない典型的な日本人でした。
こちら辺はプロフィールを見てくれれば悲しい過去を知っていただけますw
→[ベルのプロフィール](#)

雑巾が飛び交う中、英語の授業を受けていたのは、
今でもいい思い出です。鮮明に思い出せますw

では、なんで、英語が全然できなかったのに、
今との違いは何か？なんですが、

僕は、勉強しなかったからです。
「あれも！これも！」ではなく、
勉強しない事を明確にしました。

明確にするために勉強戦略を立てたら
結果、英語の型を知って、
TOEIC は 2 か月で 800 点を取れました。

勉強しない戦略の例として
英会話教室や留学があります。

僕はこれらはいらないなど。
電車に乗った時によく見る広告の内容や
英語漬けの方法もありません。

こういった方法はポジティブに信じられていますが、
僕から言わせれば、無駄です。

以前は、英語ネイティブから英語を習えば
英語はすぐに上達するものだと思っていましたが、
英会話教室の目的は(裏側を言うと)
「生徒を受講させ続けること」にあります。

英語力を上げて、TOEIC の点数を上げて、
といった目的ではありません。
そんな目的で英語が自由に使えるはずありません。

同じように、
それこそ一年や二年も英語圏に
留学したとして英語力が上がることはありません。

もちろん、リスニング力が上がったり、
いろんな価値観を知ることが出来ます。
(だから短期留学は良いと思います)

しかし、長期留学は僕が思う英語力を上げる条件を満たしてはいません。
英会話教室や留学で英語力を上げようと、
選択肢に入れるのは最適ではないと思います。

むしろ、地雷ではないかと思います。

確かに英会話教室・留学に行けば、楽しいですし、多くの経験を積めます。
楽しい思い出も作れます。とっても素晴らしいです。

しかし、英会話にしる、留学にしる、大金がいります
それこそ 200 万円は必要です。
英語力を伸ばす手段として行くのはやめた方が良いでしょう。

統計的なデータを見たら分かるように、
英語力が上がっていない人の割合が圧倒的に多いのです。

僕は、才能や英語のスキルが全くなかったので
国内で勉強するしかありませんでした。
自分で勉強する戦略を練り、
短期間で英語力を上げられました。

僕は英単語 1000 単語程しか暗記しませんでした、
英語力チェックのツールを使ったところ
TOEIC900 点ほどの英語力がありました。

単語力がある人ほど、英語力が高いですからね。

勉強する量が少なくても
効率を高めれば、
TOEIC900 点のレベルまで行けてしまったのです。

僕の方法を試している生徒たちは僕と同様に
英語に対して苦手意識があったり、
今まで英語力が全く上がらなかった経験があったにもかかわらず
今では、外国人と軽く談笑するまでになっています。

勉強法を教えていて、思うようになったことがありまして、

「知識がない人が自分で考えても、何も考えていないことと同じ」

ということです。

(これはドラゴン桜の名言であり、
感銘を受けた言葉です。)

つまり、知らないことを
いくら考えても答えが出ないということです。

既に成功をしている人や
実力がある人の成功法則を実践すれば
時間が節約できますよね。

面倒事も回避できます。
これが確信であり、
全力で行動に移す自信になるのです。

僕と一緒に勉強した人から良く言われるのですが、
スピード感が半端ないようです(笑)

僕にとっては普段のことなのですが、
時間を無駄にすることを徹底的に省いて
英単語を読むのも、パラパラ漫画のように進みます
そんなスピード感です。

どうして、そんなスピードなのかと言うと
知識には時間もお金も惜しまずに
常に脳みそを鍛えていたからです。

だから、僕は徹底的に知識のために勉強するし、
レバレッジのかかることのみで全力で行動してきました。

本当に当時はアホみたいに勉強法や、成功法則、
実践的なノウハウを学んでいましたね。

そのおかげで、今では英語については言語学者と
同じ見地から語れるほどまでになりました。

いまでも、まだまだだし、
上には上がいるので、上を目指して、もっと勉強したいです。

なにより知識があれば膨大な労力もいらぬし
結果が跳ねやすくなりますから。

つまり、結果が出る単語の勉強法則を知っているから
膨大な時間が掛かるものに関わることなく、
短期間で結果が出せたのです。

既に僕が9割の時間を割き、勉強法則を余念なく研究しているので
レポートを読んでいるあなたは、
単語学習に大幅な時間を割く必要はありません。

僕が実践したように、結果に繋がることのみ
時間を費やしていきましょう。
では、その説明をしていきます。

まずは、単語が覚えられないというのは2つの理由からです。
「数」と「脳の使い方」です。

単語を覚えられないというのは、
単純に暗記するだけの「数」に達していないからです。

===数===

そのため、意味が分からなくても
何度も何度も繰り返し見ていきます。

1,初めは単語も意味も分からね～って感じで超高速読んで終わらせます。

2,再度その範囲を、意味や理解などすぐに拾えるものだけ拾って一周します。

3,またその範囲を、すぐに拾えるものだけ拾って一周します。

4,またその範囲を、すぐに拾えるものだけ拾って一周します。

5,またその範囲を、すぐに拾えるものだけ拾って一周します。

...

で、1 単語当たりの時間は、1 秒でスラスラとこなしていきます。

とにかく、時間をかけないことを意識します。

書いていたら1秒で次にいけないので、目で見るとのみです。

口ずさみながらアウトプットするのは大丈夫です！

で、なぜ数をこなすのか？

書いた方がよくない？

なんでそんな方法なの？理由は？

ということなのですが、

「どのパラダイムを選択しているのか？」

ということを意識的に明確にするためです。

例えば、遭難者にとって水が一番重要です。

勉強する人にとって情報が一番大事です。

脳は状況によって順位付けはころころと変わるのです。
だからこそ、繰り返して「数」をこなす勉強をすることで
「今一番大事なのは～という英単語なんだ！」と
脳の順位付けを変更させるのです。

そうすれば、英単語の定着度がかなり上がります。

スラスラと1単語1秒ほどのスピードで勉強していると、
最後の方になってくると頭が全然働かなくなりますからね(笑)
成長している感じが分かります。

いま、頭を鍛えている！
ってのが分かって楽しいです(笑)

そんな時は、糖分が枯渇しないように定期的に**チョコレート**でブドウ糖を補給していきましょう。
ブドウ糖がなくなると勉強の効率ってめっちゃ落ちますからね。
気を付けて下さい。

(逆にブドウ糖が十分あると、記憶力が増すというデータがあります。)

で、ひたすら数をこなしていきます。
1時間かけて100単語を何回も繰り返しスラスラと見て、数をこなします。
100単語程なら、軽く見積もっても1時間で3周は必ずできると思います。
(なれたら単語の数は増やしても大丈夫です。ただ、慣れるまでは数を多くしたらダメですよ。)

また、

ある程度の緊張感を持って勉強するためのコツを、2つ紹介します。

締め切り効果と、適度なストレスです。

締め切り効果とは、終わりを決めることで集中して作業をこなせる心理学用語です。

目の前にタイマーをセットし、1時間ピッタリで終わるようにします。

終わりが決まることで締め切り効果を駆使し、集中して英単語の勉強が出来ます。

また、1時間覚えた後に、テストがある！と

思い込むことで適度なストレスがかかるので、これまた集中して出来ますよ。

(実際はテストはありませんが、脳の優先順位を操作します。単語の勉強をした後に確認チェックをしましょう。)

2つ目に重要な単語の勉強法が「**脳の使い方**」です。

=== 脳の使い方 ===

1時間で最低3周、100単語を何回も繰り返しスラスラと見て、数をこなす際はただ、目で追うのではなく、「脳を正しく使って」覚えていきましょう。

ご存知の通り、人間は、右脳と左脳を持っています。

それぞれの機能を端的に紹介すると、

左脳が、言語を司り、論理的に考えたり計算を得意とします。

対し、右脳は感情を司り、感性やイメージを得意とします。

今の説明から分かりように、

言語を勉強する時は、ほとんど「左脳」が担当してしまいます。

なので、英単語を勉強する時も

普通なら左脳のみしか働かず、脳の左半分は休憩状態なのです。

これって、僕からしたらかなり効率が悪いことでして、

脳はフルに使ってこそ意味があります。

脳をフルに使わなかったら糖分が枯渇することはありませんね。

糖分の枯渇を感じてきたら、いい勉強が出来ている証拠です。

で、どうやって脳をフル回転させて勉強出来るのか？

というと、右脳だけでなく、左脳を強制的に動かすようにします。

左脳は感情を司り、感性やイメージを得意としていましたね。

そのため、左脳の特徴である、単語とイメージ(感情)を繋げる勉強をしましょう！

だから、一般的に「単語帳」と言われていますが、

本来なら、「意味帳」なんです。

英単語を覚える時は、

単語の形は覚えなくていいので、**意味やイメージを覚えることを意識**しましょう。

これが一番大事です。

この方法は、

後天的に身に付けることが出来る勉強法則です。

だから、センスのない僕でも出来たし、

暗記時間が激減していきました。

人によってはこれからの英単語の学習に困ることなく

はかどるので何百時間も節約できるでしょう。

覚えたのかをチェック

「数」と「脳の使い方」を駆使して1時間単語に目を通し終えたら、

単語を覚えているのかを確認しましょう。

先ほども言いましたが、

チェックをすることを意識したら、

脳の優先順位を操作することが出来ます。

つまり、

脳が「今は、この～という英単語を覚えることが一番大事！！」と

思うようになります。

また、「覚えた！」と自分で思っても「覚えていない」可能性があります。

僕が目指しているのは、「覚えた！」ではなく、「定着した！」です。

「定着した！」とは、英単語に目を通したら瞬時に右脳からイメージが出てくる状態です。

数秒でも「うーん」とか、「えーっと」となるのではなく、

瞬間的に「こう！」と言える状態です。

単語のスペルを思い出せても全く意味がないです。

イメージ・意味がパツ！と

出てくることを目指しましょう。

だから「単語帳」ではなく、「意味帳」なのです。

単語をすぐ忘れてしまう理由は、

「短期記憶」という重要じゃない記憶だからです。

脳がこの英単語は忘れてもいいと思っているんです。

脳に重要認定してもらうためには、

とにかく「数」と「脳を正しく使う」ことを意識してください。

この2点の勉強法で、「短期記憶」から「長期記憶」になります。

これが英単語を勉強する時の法則です

もし、確認チェックして定着せずに「短期記憶」のままの英単語があったら

再度(次の日に)覚えていなかった単語を繰り返し勉強して

長期の記憶にしていきましょう。

1 時間 100 単語覚える

ゴールを決めて、勉強法則に確信したら
後は行動するのみです。

大前提なのですが、成功の法則は次の 3 つです。

■「確信する」

■「勉強法(戦略)を知る」

■「行動する」

本質的な単語の勉強法を知らない人が多い中、
これだけの知識があれば 1 ヶ月という短い期間でも、目に見える形で結果が出るようになります。

正しい英語法則を知っている人なんてほとんど一部です。
ましてや、やる人なんて…。

実際に行動した人から結果が出ているので、
行動したもん勝ちですよ。

僕が教えた教え子たちは、今では英語ネイティブと
スラスラと話すことが出来るようになったし、
ベル公式メルマガを受け取っている多くの方から多くの報告を頂いています。

>> [メルマガの登録はコチラから](#)

英語って難しくないんです。
正しい勉強を知って、確信を持てばいいんですから。
膨大な時間が掛かる勉強法に関わってはいけません。

ひたすら、英語⇒日本語変換して
英単語を学ぶのです。

逆はダメですよ。
日本語→英語変換は 4 倍の労力が必要となるので、
絶対にやめましょう。

ある程度、英語力があればいいのです。
英英辞典も(TOEIC800 点ほどの)英語力があればいいんです。

英語の土台が固まってから、
難しい、色んな表現を学ぶべきなんです。

そういう学習ステップがあります。
初めから、跳び箱 20 段を飛べる人はいません。

徐々にレベルを上げていくのです。
だから、初心者でも、僕のように苦手でも
英語は短期で結果が出やすいし、時間を節約できるのです。

また自分に投資することも大事ですよ。
身近な例として、高校生は英単語を勉強する時に、
2万円払って電子辞書を買って勉強をするくらいです。
投資すれば、時間は省略できます。

それくらい自分の知識のために投資することがとっても大事なのです。

ついでに僕が使っていたおススメ単語帳も紹介します。
受験対策にも使えて、今後の実用英単語を学ぶにも都合のいい
[「システム英単語」](#)です。

単語帳でも結果は大きく変わってきますので、結果が欲しい方は購入してください。
そして、基本的に **1つの媒体を徹底的に信じて何度も繰り返して学習**します。

このレポートも忘れないように、何度も繰り返して読んで頂けたらなと思います。

僕は知識に投資する時に、色んなものに手を出すのではなく、
1つのものを徹底的に深く落とし込みます。
それこそ同じものでも何度も勉強し、知識が定着するまで学習します。

英語の成功法則を知っているからこそ、
やるべきことが省略されて確信になります。

そうして僕自身、結果を短期間で出せました。
本当に運が良かったと思います。

僕から英語を学んできた人も同じように英語力を伸ばしています。

最近では、英語の仕事が決まった 30 代女性の方もいるし、
米軍がお客様になった方もいます。

本当に才能なんていません。
先人たちの膨大なデータから明らかなものを採用すればいいんですから。

僕はそのためにも情報には徹底的に投資をして、
常に情報の感度は高めています。

自信もなく、ひたすら機械をいじる変哲もない大学院生でしたが、
アンテナを高く立てていたので、情報の感度だけは
周りの学生の情報感度と比べたら高い方でした。

僕もそうなんですけど、
人って優しくされて、
行動できる強い人間じゃありません。

だから少しきつ目に言いますが、
月に 1 冊も本を読まないレベルは
呆れを通り越して、もはや笑ってしまうレベルです。

僕のように毎月 20 冊以上の書籍に目を通して、
音声を聞いたりしている人間からすると考えられません。

情報に投資せずして、どうやって成長してくのか？
疑問ではないですか。
動かない人はだいたい成功しない人でしょう。

今後、未来の僕がそうならないようにも、
自分用にキツメに言いました。

成功するのは、とても簡単だと思います。
成功法則を知って行動するだけです。

英語力が上がるという確信があるから
本質のみを学び、迷いなく、突き進めます。

もしかしたら、そういった確信があっても
失敗する可能性はありますが
失敗したからと、人生終了ではありません。

失敗とは、成功するための種まきです。
成功の母です。
行動しなければ、成功も失敗もあり得ません。
経験することがとても大事だと思います。

英語は失敗して、笑い話にするくらいがちょうどいいです。

今まで、語ってきたように、

これからは個人の時代です。

個人のスキルがものをいいます。

スキルを上げるため

時間を省略させるため、投資するのも1つの手です。

英語は一生を通して使えるので、将来のことを考えて一時的に投資しても全然安いと思います。

結局は、お金を

寝かしておくほどもったいないことはありません。

最も効率が良いのが自己投資だと考えています。

僕は誰がなんと言おうと、

常に自分に投資してきました。

これからもそうです。

だからこそ短時間で結果も出せたのだと考えています。

自己投資ほど自分の将来にリターンが返って来るものはありません。

気になる本があれば、全て買うし、

書いてあることは、理解して使えるレベルになるまで勉強します。

勉強になると思えば、即行動しています。

先日もリスニングに関する参考書を買ったし、
視点が面白い人と英語の未来について話し合っていたら、
その日のうちにその方が主催の英語の企画に参加してきました。

結局のところ、大事なことは、
行動するかどうかだと思います。

センスや才能ではないです。
自分の能力で足りないと思っているところには、
時間とお金で補う。
そして、さらに上を目指していく。

そこにプライドとかは必要ないと思っています。
自分のプライドや我流の方法で無理やり進めるから
夢から遠ざかっていきます。

僕はつまらないプライドが邪魔して
3年間 TOEIC の点数が上がらなかったから
痛いほどわかります。

まずは脳科学から
確立された英語の法則を知る、
英語の型を知る
ということが重要です。

自分の頭に必要なものに投資して、しっかりと勉強していく。

時間を短縮して最高の効率を生み出すなら

この方法が一番だと。

必ず夢が叶う方法だと。

僕はこう思っています。

最後に僕が英語を勉強するときに意識している言葉を贈ります。

「千里の道も一歩から」

という言葉。

まずは、小さくてもいいので、

本当に小さなことでもいいので、

偉大な第一歩を踏み出していきましょう。

脱完璧主義と脱クソプライドです。

では、最後まで読んで頂きありがとうございました。

P.S.

感想待っています。

というのも、僕自身どんな人が読んだか気になるし、

これからも役立つレポートを書いていきたいからです。

ベルの公式メルマガから感想を送れば確実に読みます。(全員に返信は難しいです。)

感想によっては、新しいレポートを書きます。

そして、優先的に送ります。

また、知識を定着するために

このレポートで知ったことを早速アウトプットしてみてください。

周りの友達に言うでもいいし、

恥ずかしいなら、僕にメールで送ってんでも大丈夫です。

行動が早い人は、結果を出すのも早い人です。

日々のちょっとしたことから、アウトプットを意識してみてください。

ではでは。

作者 :ベル

公式メルマガ:<https://bellthrough.com/abc>

Twitter :<https://twitter.com/bellthrough>